



## 2020年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月11日

上場会社名 株式会社インターアクション 上場取引所 東  
 コード番号 7725 URL <http://www.inter-action.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 木地 英雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 木地 伸雄 TEL 045-263-9220  
 四半期報告書提出予定日 2019年10月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年5月期第1四半期の連結業績（2019年6月1日～2019年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第1四半期	1,818	15.7	466	112.3	460	119.9	291	114.5
2019年5月期第1四半期	1,571	48.8	219	65.4	209	71.7	136	120.9

(注) 包括利益 2020年5月期第1四半期 273百万円 (123.9%) 2019年5月期第1四半期 122百万円 (99.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第1四半期	26.69	—
2019年5月期第1四半期	14.41	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第1四半期	9,224	6,963	75.5
2019年5月期	10,388	7,306	70.3

(参考) 自己資本 2020年5月期第1四半期 6,963百万円 2019年5月期 7,306百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2020年5月期	—	—	—	—	—
2020年5月期（予想）	—	0.00	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,889	11.3	2,122	7.2	2,109	8.5	1,395	0.7	128.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 株式給付信託型ESOP及び株式給付信託型役員報酬制度を導入しており、株式給付ESOP信託口及び株式給付役員報酬信託口が所有する当社株式を含む自己株式数を控除した期中平均株式数により「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期1Q	11,510,200株	2019年5月期	11,510,200株
② 期末自己株式数	2020年5月期1Q	704,256株	2019年5月期	463,156株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期1Q	10,940,472株	2019年5月期1Q	9,441,503株

(注) 当社は、株式給付信託型ESOP及び株式給付信託型役員報酬制度を導入しており、株式給付ESOP信託口及び株式給付役員報酬信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において予想できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 2020年5月期第1四半期決算短信(連結)補足説明	10
(1) 受注実績の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、事業セグメントを「IoT関連事業」「環境エネルギー事業」「インダストリー4.0推進事業」に分けて活動を行っております。各セグメントの事業環境は下記のとおりであります。

IOT関連事業セグメントでは、イメージセンサの生産工程における品質検査で使用する検査用光源装置及び瞳モジュールを、イメージセンサメーカー向けに製造・販売しております。

現在イメージセンサ市場では、複数台のカメラを搭載したスマートフォンの普及が進んでいることから、スマートフォンカメラ向けイメージセンサの需要が伸びると予想されております。また、中長期的には自動車の自動運転に不可欠な車載向けイメージセンサの需要も高まってくるとの予想もされております。そのため、イメージセンサメーカーでは生産キャパシティ強化のための設備投資意欲が高い状況となっております。

環境エネルギー事業セグメントでは、大量印刷を行うための印刷機(輪転機)と一緒に使用する乾燥脱臭装置や、工場向けの排ガス処理装置を製造・販売しております。

印刷機業界は、ITの普及により新規の設備投資は縮小しているものの、輪転機の経年劣化による買換えが毎年一定数発生するほか、定期的なメンテナンス需要が存在しております。現在は競合他社がほぼ存在しないため、当社グループではこれらの需要を安定的に取込んでおります。さらに今後は、海外への展開にも力を入れていく予定であります。

インダストリー4.0推進事業セグメントでは、主にディスプレイの生産過程で支障となる振動を取り除くための除振装置をディスプレイメーカー向けに製造・販売しているほか、歯車が設計図通りの形状となっているかを調べる歯車試験機を、歯車メーカー向けに製造・販売しております。

現在フラットパネル・有機ELディスプレイ業界では、生産設備への投資が落ち着いた状況が続いているものの、メーカーの潜在的な設備投資意欲は存在していると予想しております。

また、歯車試験機は基本的に工作機械市場の状況に準じており、景気変動に左右されるものの、市場規模はほぼ横ばいの状況が続いております。歯車試験機は主に自動車産業向け製品に使用されることが多いため、自動車生産台数の増加が予想される海外での営業活動を強化しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,818百万円(前年同期比15.7%の増加)、売上高の増加等により、売上総利益は934百万円(前年同期比39.7%の増加)となりました。また、営業利益は466百万円(前年同期比112.3%の増加)、経常利益は460百万円(前年同期比119.9%の増加)、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は291百万円(前年同期比114.5%の増加)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

## (IoT関連事業)

前期に引き続き、スマートフォンカメラの複眼化によるイメージセンサの需要拡大を背景に、当社の主要販売先であるイメージセンサメーカーにおいて設備投資が活発となっております。そのため、当社グループの主力製品であるCCD及びCMOSイメージセンサ向け検査用光源装置及び瞳モジュールの販売が好調に推移いたしました。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は1,257百万円(前年同期の売上高764百万円に比し、64.6%の増加)、セグメント利益は643百万円(前年同期のセグメント利益311百万円に比し、106.2%の増加)となりました。

## (環境エネルギー事業)

国内市場では、印刷資材である用紙の値上げによるコスト高により、前期に引き続き顧客の設備投資意欲が低迷しております。必要最低限の印刷機の更新及びメンテナンス需要を着実に取り込みましたが、当セグメントの主要製品となるオフセット輪転印刷機向け乾燥脱臭装置の販売は低調な推移となりました。

一方で、新たなメンテナンスサービスの展開を開始し、今後拡販を行っていく予定です。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は191百万円(前年同期の売上高216百万円に比し、11.6%の減少)、セグメント利益は0百万円(前年同期のセグメント利益8百万円に比し、98.5%の減少)となりました。

## (インダストリー4.0推進事業)

精密除振装置において売上比率の高い海外市場においては、前期より引き続き需要が落ち着いた状況となりました。また、精密除振装置は、単価の低いパッシブ型と、より高性能で単価が高いアクティブ型の大きく2種類に分類されますが、当第1四半期連結累計期間においてはパッシブ型の出荷台数が多い状況となり、全体の売上高は落ち着いた状況となりました。

歯車試験機においては、米中貿易摩擦やEUの離脱問題等による国際情勢の不安から、世界の製造業において不要不急な設備投資の手控えが広がっている影響もあり、前期から引き続き歯車試験機の販売は落ち着いた状況となりました。一方で、海外市場への拡販に向けた基盤構築等の取り組みを推進いたしました。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は369百万円(前年同期の売上高590百万円に比し、37.5%の減少)、セグメント利益は26百万円(前年同期のセグメント利益51百万円に比し、48.2%の減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,164百万円減少し、9,224百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,099百万円減少し、7,811百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が317百万円、電子記録債権が665百万円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ64百万円減少し、1,412百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ820百万円減少し、2,261百万円となりました。これは、1年内を含む社債及び借入金が125百万円、未払法人税等が395百万円、未払金(流動負債その他)が125百万円、前受金(流動負債その他)が164百万円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ343百万円減少し、6,963百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益291百万円を計上したものの、前事業年度の期末配当金199百万円及び自己株式の増加417百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、2019年7月12日公表時より変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,799,286	4,725,215
受取手形及び売掛金	1,172,506	855,312
電子記録債権	1,400,050	734,449
営業投資有価証券	53,441	48,968
商品及び製品	182,607	154,379
仕掛品	873,819	778,005
原材料及び貯蔵品	429,174	505,338
その他	51,800	44,161
貸倒引当金	△51,169	△34,126
流動資産合計	8,911,516	7,811,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	324,178	318,975
土地	165,149	165,149
その他(純額)	214,838	217,449
有形固定資産合計	704,166	701,574
無形固定資産		
のれん	366,113	352,654
その他	47,373	45,501
無形固定資産合計	413,487	398,156
投資その他の資産		
投資有価証券	33,819	33,247
その他	330,973	284,486
貸倒引当金	△4,993	△4,989
投資その他の資産合計	359,798	312,744
固定資産合計	1,477,452	1,412,474
資産合計	10,388,969	9,224,179
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	513,562	432,704
短期借入金	70,000	70,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	335,043	302,377
未払法人税等	522,759	127,737
賞与引当金	—	36,017
製品保証引当金	32,532	23,074
役員株式給付引当金	134,400	185,800
その他	691,716	396,479
流動負債合計	2,360,014	1,634,190
固定負債		
社債	150,000	120,000
長期借入金	438,606	375,503
株式給付引当金	2,644	3,107
退職給付に係る負債	91,462	87,318
資産除去債務	10,144	10,145
その他	29,128	30,861
固定負債合計	721,986	626,935
負債合計	3,082,000	2,261,125

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,760,299	1,760,299
資本剰余金	2,719,603	2,719,603
利益剰余金	3,065,143	3,157,600
自己株式	△228,185	△646,089
株主資本合計	7,316,861	6,991,413
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△9,893	△28,359
その他の包括利益累計額合計	△9,893	△28,359
純資産合計	7,306,968	6,963,053
負債純資産合計	10,388,969	9,224,179

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
売上高	1,571,513	1,818,691
売上原価	902,258	883,822
売上総利益	669,254	934,869
販売費及び一般管理費	449,495	468,286
営業利益	219,758	466,583
営業外収益		
受取利息	282	1,119
受取配当金	180	180
貸与資産賃貸料	3,104	3,204
為替差益	2,868	—
持分法による投資利益	1,012	—
その他	1,443	2,884
営業外収益合計	8,891	7,387
営業外費用		
支払利息	3,159	2,398
貸与資産諸費用	15,299	4,059
為替差損	—	5,832
持分法による投資損失	—	518
その他	787	753
営業外費用合計	19,246	13,563
経常利益	209,403	460,408
特別損失		
固定資産除却損	558	127
特別損失合計	558	127
税金等調整前四半期純利益	208,845	460,280
法人税、住民税及び事業税	47,115	116,382
法人税等調整額	25,634	51,919
法人税等合計	72,749	168,302
四半期純利益	136,095	291,978
親会社株主に帰属する四半期純利益	136,095	291,978



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	136,095	291,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△567	—
為替換算調整勘定	△12,813	△18,433
持分法適用会社に対する持分相当額	△561	△33
その他の包括利益合計	△13,941	△18,466
四半期包括利益	122,153	273,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,153	273,511
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、当社は2019年7月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式124,300株の取得(219,841千円)を行いました。また、株式給付役員報酬信託において、当社株式117,800株の取得(198,564千円)等が行われました。

この結果、自己株式が417,904千円増加し、当第1四半期連結会計期間末における自己株式は646,089千円となっております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年6月1日至2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	IoT関連事業	環境エネルギー事業	インダストリー4.0推進事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	764,479	216,697	590,335	1,571,513
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	764,479	216,697	590,335	1,571,513
セグメント利益	311,859	8,874	51,624	372,358

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	372,358
全社費用(注)	△150,834
たな卸資産の調整額	△1,765
四半期連結損益計算書の営業利益	219,758

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	IoT関連事業	環境エネルギー事業	インダストリー4.0推進事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,257,951	191,565	369,175	1,818,691
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	1,257,951	191,565	369,175	1,818,691
セグメント利益	643,039	129	26,724	669,894

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	669,894
全社費用(注)	△200,197
セグメント間取引消去	323
たな卸資産の調整額	△3,437
四半期連結損益計算書の営業利益	466,583

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 3. 2020年5月期第1四半期決算短信(連結)補足説明

## (1) 受注実績の状況

## ① 受注実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年8月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年8月31日)		増減	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
IoT関連事業	1,781,557	1,635,492	1,392,124	1,326,568	△389,433	△308,924
環境エネルギー事業	364,093	492,580	153,900	304,431	△210,192	△188,148
インダストリー4.0推進事業	473,057	170,508	377,537	267,797	△95,519	97,288
合計	2,618,708	2,298,582	1,923,562	1,898,798	△695,146	△399,784

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 上記金額には、見込み生産を行っている事業は含まれておりません。